

新 時 代

第 11 号

昭和 45 年 2 月 20 日

日 本 盲 人 福 祉 研 究 会
(文 月 会)

正育兼用 女子用 腕時計
男 子 用

提時計・目覚時計

製造発売元 小 西 立 志 堂

小 西 健 司

京都市下京区河原町4条下ル 郵便番号600

電 話 京 都 075 (351) 5076

振替口座 京 都 6301

(住所明確にお申込次第カタログ無料進呈)

：点字製版印刷機械のパイオニア：

- 点字製版機
- 点字印刷機械
- 書 見 台
- 紙折機械
- 紙 折 台
- 点図パンチ15種及鉛板

◎新型点字タイプライター製造準備中

小 林 鉄 工 所

京都市南区吉祥院井ノ口町45

TEL (075)-691-7270

1. 巻頭言 弱視教育に思う	中 野 一	1
2. 70年代の視覚障害児教育	木 塚 泰 弘	3
3. 会員の生活実態調査報告	佳 田 淳 一 田 中 徹 二	19
4. 学園紛争の意味するもの	楠 敏 雄	22
5. 「特殊教育の基本的な 思索のありかたについて」 文部省の特殊教育総合研究調査協力者 会議の最終報告を批判する	西 岡 恆 也	24
6. 第9回例会報告	高 橋 実	26
7. 係からのお願い		33
8. 編 集 後 記		35

弱 視 教 育 に 思 う

中 野 一

私は仕事の関係で各盲学校を訪問することがある。そして、いつも、訪問先で二つの共通点を感じる。一つは、申し合わせたように、ほとんどの盲学校がりっぱな新築校舎であることだ。

振り返えてみると盲学校が義務教育制度に変わった昭和23年ごろの校舎の中には公民館を改造した寺子屋を思わせるような校舎があり、最近まで使用されていたことを聞いている。しかし、現在は経済の高度成長に準じてか、老朽校舎の改築、新築移転—地理的に不便なところもあるが、各盲学校共が新築を競っているかにみえる。また、寄宿舎においても、ホテルを思わせるようなデラックスな設備が施されているところもある。

今一つは、弱視の生徒が多くみうけられることである。14、5年前までは、全盲者が多く弱視の生徒は数える程度であったが、今は一般の学校へ行ったような錯覚さえおぼえる。全国盲学校長会編の昭和44年度全国盲学校職員録に掲載されている「児童生徒の実態」によれば全国総生徒数7,267名に対し全盲生徒数2,238名で全体の31%, 準盲生徒1,134名で16%, 弱視生徒は3,895名で53%となっている。この統計で解るように全盲生徒が少なくなっている。

ここで私は、弱視と職業について問題提起をし巻頭言にかえたい。

わが国の盲学校で弱視学級が編成されたのは昭和27、8年ごろだと聞いている。また、文部省をはじめとし、一般学校および大学の研究室にも弱視教育について効果を高める研究がなされており、昭和37年に日本弱視教育研究会が発足、活発な活動と成果を納めていることを、その研究会の機関誌「弱視教育」でみることができる。

さて、この弱視教育といわれる目的、あるいはその根底は何であるかとしらうと考えで定義するならば残存視力をいかにカバーし、本人の能力を育成伸展させるかにあると思う。

現在、盲学校の小学部・中学部において弱視学級を設置し、分離教育を施している学校が多い。しかし、高等部に進学すると全盲・弱視の混成教育になってい

るようだが、それでは弱視学級を編成した意義が薄れるのではないかと懸念する。また、弱視生徒のほとんどが理療科に進んでいる。これは理療科に進む者が多いからその職業コースを選んでいるのかも知れないし、その他のコースが限られているからかも知れない。

私はある日近畿盲教育研究会の部会に出席しており、その席上で「理療科にいやいやながらいく生徒が45%いる」と聞かされたとき、盲学校に一般の実業学校的なニュアンスを持つコースが新設されれば、そのコースに進む生徒が多いのではないかと考えさせられた。

それには徹底した弱視教育、分離教育の充実が必要かと思う。すでに「盲人は何もできない」時代は過ぎ、一般企業の戦力となって視力障害者が17名も日本ライトハウスから巣立っている現状である。弱視教育の成果が上げれば本人の能力が高められ、個々の能力は幅広い大きな活動力を持つことになるかも知れない。この大きな活動力を職種の開発とその拡大に向けて教育指導するならば、弱視生徒自身の将来はもとより、そのパワーは必ずや社会に対して期待に沿うものがあると確信するものである。

現在、日本の弱年労働力は減じ、中高年労働力に依存している現状において大いに、このパワーを生かすことができるならば貴重な存在になることであろう。

盲教育もさることながら、願わくば、弱視教育のあり方や、その意義を深く追求し、かれらに職業の選択が自由にできるように、一般の実業教育を盲学校でも施行されるよう関係官庁のご配慮とご協力を願うものである。

(筆者は日本ライトハウス職員・本会役員)

***** 創業明治34年 *****
* 点字器機全般専門製作販売 *
* 厚生省公認 *
* 盲人用補装具指定 *
* 仲村点字器製作所 *
* 仲村謙次 *
* 仲村茂男 *
* 東京都中野区鷺宮1-14-3 *
* 電話 東京 03 (338) 1384番 *
* 振替口座 東京 75728番 *

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。